

## 1. 材料の確認

まず施工に充分な量の石があるかどうかを確認します。

足りない場合は同じロットの石を注文、入手して下さい。

(特にシート貼り商品で、別ロットのものを混ぜて同一面に施工されますと、ロット違いによる色ムラが大変目立つ場合があります。)

バラの場合で、同ロットの石が無かった場合は、入手後全体が均等になる様にミックスして下さい。

## 2. 下地の確認

a. コンクリートの浮き・ひび割れ・ジャンカ(※)等が無いかを確認します。

※ジャンカ; 打設されたコンクリートの一部に粗骨材が多く集まって出来た空隙の多い部分の事。

b. 躯体が平面であることを確認します。

凸面の場合はカップ掛けやハツリにより、凹面の場合は下地調整材の使用により、平面にして下さい。

c. 表面のホコリ・白華(※)等は接着不良の原因になりますので取り除きます。

※白華; 硬化したコンクリートの表面に浮き出る白い物質の事。炭酸カルシウムを主成分とする。

## 3. 墨出し

割付図面に合わせて タテ・ヨコ・円形等の墨出しを行います。

僅かな寸法差が生じた場合は、目地幅で調整します。

## 4. 施工 (施工場所が床及び壁のいずれであっても作業は同様です)

※ タイルに着いたホコリや粉等は接着不良の原因となりますので、あらかじめ水分を含んだ布などで拭き取ってください。

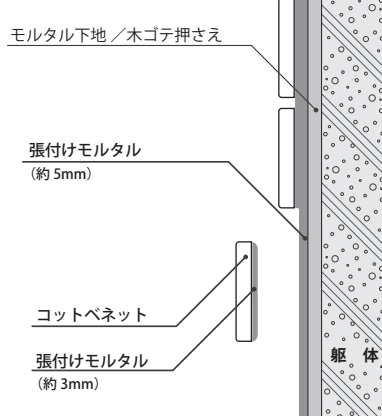
■バラの場合・・・下地モルタル面に張付けモルタル(市販の圧着モルタル)を5mm程度塗り付けます。更に石の裏面にも張付けモルタルを塗付け、石をたたき込んで張り付けます。施工後は1日以上養生します。

■表紙貼り及び裏ネットシートの場合・・・下地モルタル面に張付けモルタル(市販の圧着モルタル)を5mm程度塗り付け、石をたたき込んで張り付けます。  
表紙貼りシートは張付け終了後、水を含ませたスポンジで表紙を濡らして剥がし、石の目地調整をします。施工後は1日以上養生します。

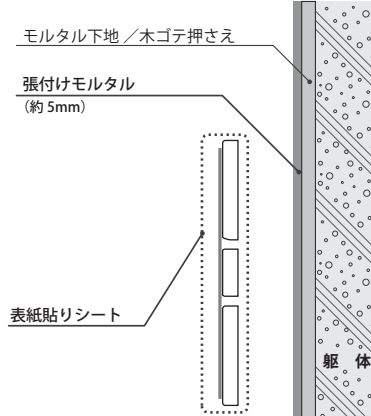
※ いずれの場合も、張付けモルタルの一回の塗付け面積は2m<sup>2</sup>程度とします。

※ 石を現場でカットする際には、ベビーサンダーにダイヤモンド替刃[φ約100~150mm]を付けて使用するのが一般的です。

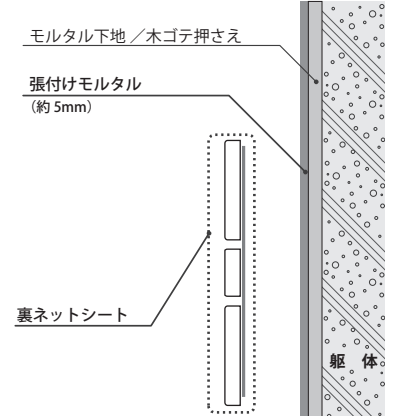
### ■バラの場合



### ■表紙貼りシートの場合



### ■裏ネットシートの場合



## 5. 目地詰め

石の施工後1日以上経過してから目地詰めをします。

ゴム鏝(コテ)にて目地セメントを詰めます。

詰め終わったら固まりきらないうちに、スポンジに水を含ませて、石の表面についている目地セメントを拭き取ります。

コットベネットは石の輪郭が丸くなっている為、少し深めに目地セメントを拭き取して下さい。

(拭き取りが浅いと、イメージより目地幅が広く仕上がります)

## 6. 清掃

目地詰め後1日以上経過してから、ブラシ等で水洗いします。

石の材質が大理石の為、酸は使用しないで下さい。